コレクションカップ



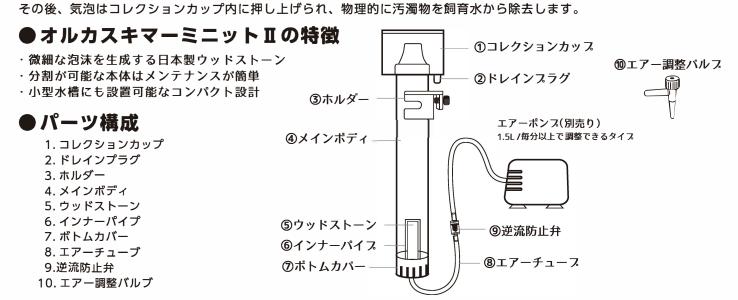
取扱説明書 Minute II オルカスキマーミニット II ダウンロード版

● プロテインスキマーの概要

プロテインスキミングとは、溶解した有機物を微細な気泡に付着させて海水中から取り除く効率的な方法です。有機物が 付着した気泡は水面に集積し上方に押し上げられ、上部のコレクションカップにたまり、汚濁物が再び水槽内に戻ること を防ぎます。また、バクテリアの餌を取り除くことで、有害な浮遊バクテリアの繁殖を防ぐこともできます。

●動作原理

オルカスキマーミニットⅡを動作させると微細な気泡が水槽の水をメインボディ内に引き込みます。 メインボディ内では空気と水の乱流が起き、有機物が気泡に付着します。

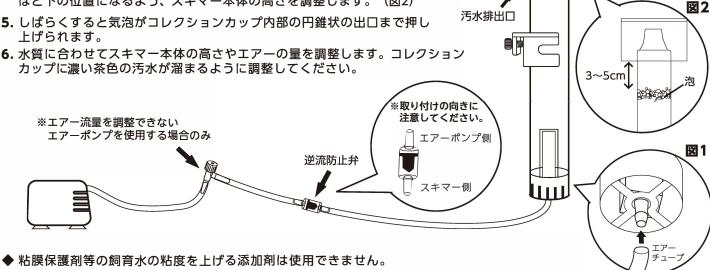


DオルカスキマーミニットⅡの設置と調整

- 1. インナーパイプにウッドストーンを差し込み、任意の長さに調整したエアーチューブを、ボトムカバーから出た ウッドストーンの先端に接続してください。(図1) エアーチューブに別売りのエアーポンプを接続し、エアーチューブの途中を切り、逆流防止弁を取り付けてください。(下図参照)
 - ※エアー流量を調整できないエアーポンプを使用される場合は、エアーチューブを 任意の長さに切り、エアー調整バルブを接続してください。
- 2. 汚水排出口にドレインプラグを差し込み、オルカスキマーミニットⅡを水槽に取り付け、ネジで固定します。

※コレクションカップの汚水排出口にエアーチューブを取り付け、ペットボトルなど 別容器に汚水を排出することもできます。 (容器は汚水が溢れ出ても大丈夫な場所に設置してください。)

- 3. エアーポンプの電源をコンセントに接続し、作動させてください。
- 4. 初期調整時スキマー本体内の水位がコレクションカップの底より約3-5cm ほど下の位置になるよう、スキマー本体の高さを調整します。(図2)
- 上げられます。
- 6. 水質に合わせてスキマー本体の高さやエアーの量を調整します。コレクション



- ♦ 直ぐにコレクションカップが汚水で一杯になる場合は、スキマー本体の位置を引き上げます。
- ◆ 気泡の集合体がスキマー内部管の出口まで達しない場合は、スキマー本体の位置を下げます。

注意

- ・コレクションカップや汚水を溜める容器から汚水が溢れ出ないよう、常に監視してください。
- ・スキマーの調整は、水質の変化や飼育している生物の数により随時行ってください。
- ・立ち上げ直後のスキマーは製造時の汚れや微粒子の付着により、気泡が上方に上がりにくい状態となります。 正常な機能を回復するのには一週間程度の猶予が必要です。
- ・水槽に有機物が無い状態では、コレクションカップに汚水は溜まりません。
- ・使用するエアーポンプの能力により調整が異なります。
- ・粘膜保護剤や、水質調整剤の中には水の粘度を上げ、スキマーに悪影響を与えるものもあります。

●定期メンテナンス

- ・コレクションカップはこまめに清掃してください。その際に洗剤は使用しないでください。
- ・最高の性能を保持するためオルカウッドストーンは 2 週間から 1 ヶ月を目処に交換してください。 ウッドストーン交換の際に、膨張して取りづらい場合は、ボトムカバーからインナーパイプを取り外し、ウッドストーンを 押し出すようにして取り外してください。

(ウッドストーンを交換した場合、エアー量の再調整が必要となります。)

● トラブルシューティング

1. 水質の状態が変わると使用中のオルカスキマーミニットⅡの性能も変化する場合があります。

魚の数が増えたり、水槽水の粘度を高めてしまう特性のある水質調整剤を使用すると、非常に粘度の高い泡沫が発生する「オーバースキミング」になる場合があります。

この場合には、一時的にエアーポンプのエアー量を調整して泡沫発生量を減らすか、水換えを行ってください。

2. 水槽のメンテナンスや水換えで、泡沫がすぐに割れてコレクションカップまで上がらなくなる場合があります。

この場合は、数時間すると正常に回復しますので、エアーの調整を控えることをおすすめいたします。

ウッドストーンとエアーチューブは消耗品です。保証対象外となります。

●万一トラブルの場合

トラブルやわからない事が発生した場合は、当社ホームページからお問い合わせ、もしくはお名前と症状をご記入いただき下記 E-mail へご連絡いただくか、ご購入のお店にお問い合わせください。お問い合わせ E-mail: info@mmcplanning.com